

# 社協ボランティア・市民活動センターの原点

## ～ボランティア・市民活動の温故知新～

### － 開催にあたって －

- 社会福祉協議会におけるボランティア・市民活動センター（以下、社協 VC）は地域に開かれた社協のフロントであり、地域の生活課題を関係者との協働により解決していくことをめざし、活動の開発やコーディネート、学びの機会とネットワークづくりに取り組むことを、その目標として掲げています。
- また、近年の地域における生活課題の深刻化と広がり、多発する災害などに対して、施策側からも地域住民や住民主体の取り組みを制度の中に位置づけるなど、ボランティア・市民活動への期待が高まっている状況にあります。
- こうした状況を踏まえ、社協 VC スタッフは、自分たちを取り巻く社会状況を正しく認識するとともに、地域・住民に最も近いセクションとして、多様な関係者とともに社会的孤立や排除のない地域づくりに向け何をしていくべきか、あらためて考えていくことが必要です。
- 本セミナーでは、これまで社協 VC が積み重ねてきた歴史とその根源にある思いを学ぶとともに、これからの社協 VC スタッフとして向き合うべき課題やこれからの進むべき方向について、参加者全体で考えていきます。

**期 日** 平成 28 年 12 月 13 日（火）～14 日（水）

**主 催 場** 全社協／全国ボランティア・市民活動振興センター  
全社協 新霞が関ビル（5 階会議室）（東京都千代田区霞が関 3-3-2）

●地下鉄銀座線「虎ノ門駅」5 番出口より徒歩 5 分

●地下鉄千代田線／丸の内線／日比谷線「霞ヶ関駅」A13 番出口より徒歩 8 分

**定 員** 120 名

**対 象** 都道府県・指定都市・市区町村社協ボランティア・市民活動センター職員

**参加費** 7,000 円（宿泊は含まない）

※1 日のみの参加でも同額です。

※ネットワークキングタイムへ参加される場合は、別に参加費 1,000 円が必要です。

※ VC＝「ボランティア・市民活動センター」あるいは「ボランティアセンター」の略

## 12月13日(火)13:00～18:30 (会場:全社協 5階 会議室)

12:00	受付開始
13:00	開会
13:05～13:50 (45分)	<b>【挨拶・基調説明】</b> 全社協 地域福祉部長/全国ボランティア・市民活動振興センター所長 高橋 良太
13:50～14:35 (45分)	<b>【行政説明】</b> 「地域共生社会の実現に向けた取り組みと社協VCへの期待」 厚生労働省 社会・援護局地域福祉課 地域福祉専門官 後藤 真一郎 氏
14:35～14:55 (20分)	休憩
14:55～15:55 (60分)	<b>【基調対談】</b> 「社協ボランティア・市民活動センター」の原点を知る」  <b>《内容》</b> 現在の社協VCを考える上で、その前身の「善意銀行」を生み出し、「ボランティア保険」「福祉協力校」「おもちゃ図書館」など、現在のボランティア・市民活動の礎を築かれてきた木谷先生。 この対談では、今の社協VCの立ち位置を再確認するため、社協VCに込められた木谷先生の思いや考えを共有します。  <b>【話し手】</b> 四国大学 教授/ とくしまボランティア推進センター運営委員会 委員長 日開野 博 氏  <b>【聞き手】</b> 日本福祉大学 教授 原田 正樹 氏
15:55～17:00 (65分)	<b>グループディスカッション</b> 基調対談を受け、自分たちのセンター業務の実感・ギャップ、何を悩んでいるのかを出し合い、『「社協ボランティア・市民活動センター」の職員である私たちは、これからの社協VCの活動として何を大切にすべきか。』をグループで検討していきます。  <b>【進行】</b> 日本福祉大学 教授 原田 正樹 氏
17:15～18:30 (75分)	<b>ネットワーキングタイム</b> 情報交換・意見交換・名刺交換など

## 12月14日(水)9:00～12:00 (会場:全社協5階 会議室)

8:30	分科会受付開始 (各会場)
9:00～12:00	分科会
<p><b>第1分科会 「学校教育（教科教育）と福祉教育を結びつける」</b></p> <p><b>コーディネーター：</b>日本福祉大学 教授 原田 正樹 氏  <b>事例報告者：</b>東京学芸大学附属国際中等教育学校 教諭 藤木 正史 氏  社会福祉法人 浦添市社会福祉協議会 ボランティアコーディネータ 安次嶺 信也 氏</p> <p>《趣旨》  社会福祉協議会が行う福祉教育は、学校教育の中では「総合的な学習の時間」や道徳教育の時間を中心に行われています。  しかし、本来、福祉教育の実践は「全教科、全領域」で実践していくことが望ましいとされており、その推進においては、学校と社協、それぞれの「ねらい」「目的」を確認した上で実践をしていくことが必要となります。この分科会では、学校と社協、それぞれの立場から福祉教育の実践を聞き、今後の推進のために学校教育・教科教育と、どうつながっていけば良いのか考えます。</p>	
<p><b>第2分科会 「新しい地域支援事業とボランティア・市民活動  ～「有償」「サービス」と「ボランティア」「お互い様」を考える～」</b></p> <p><b>コーディネーター：</b>同志社大学 准教授 永田 祐 氏</p> <p><b>事例報告者：</b>社会福祉法人 中央市社会福祉協議会 生活支援コーディネーター 反田 綾子 氏  特定非営利活動法人 たすけあい平田 理事長 熊谷 美和子 氏</p> <p>《趣旨》  新しい地域支援事業を契機に、多様な生活支援の拡充が期待されています。その際、社協 VC には地域資源の開発やそのコーディネートを求められることが想定されますが、社協 VC として何を大切にし、どういう心構えをもって受け止めていけば良いのでしょうか。  この分科会では、新しい地域支援事業が進む中で、実践事例も踏まえながら、あらためて「有償」「サービス」と「ボランティア」「お互い様」を考えます。</p>	
<p><b>第3分科会 「なぜ社協が災害ボランティアセンターを担うのか」</b></p> <p><b>コーディネーター：</b>特定非営利活動法人 にいがた災害ボランティアネットワーク 事務局長 李 仁鉄 氏</p> <p><b>事例報告者：</b>社会福祉法人 静岡県社会福祉協議会 地域福祉課・ボランティアセンター主任 松永 和樹 氏  【※他、調整中】</p> <p>《趣旨》  災害発生時に、被災者支援の中核となるセンターとして、社協 VC や社会福祉協議会が災害ボランティアセンターを設置・運営することが常態化しています。では、なぜ社協 VC が災害ボランティアセンターを設置・運営することを求められるのでしょうか。この分科会では、社協 VC としての日頃の活動やミッションに照らし合わせながら、あらためて災害ボランティアセンターの中核を担う理由について考えます。</p>	

## ■分科会について

会場の都合により、分科会ごとにご参加いただける人数の制限がありますので、申込書には必ず、第二希望までご記入ください。申し込み状況によっては、第二希望の分科会に振り分けさせていただく場合があることをあらかじめご了承ください。なお、第一希望ではない分科会に入っていた場合、**開催 7 日前までにご通知**します。

## ■申し込み方法

別添申込要領をご参照のうえ、所定の申込用紙に必要事項をご記入いただき、**名鉄観光サービス** ㈱に郵送または FAX にて送付ください。宿泊等の手配がない場合も申込書は同一様式ですので、必ず**名鉄観光サービス**に申込書を送付してください。開催 7 日前までに参加券等が到着しなかった場合には名鉄観光サービスにお問い合わせください。

ホームページ「地域福祉・ボランティア情報ネットワーク」(<http://www.zcwvc.net/>)からも要項・申込書をダウンロードできます。ただし、いずれの場合も申込書は**名鉄観光サービス** ㈱に郵送あるいは FAX にて送付してください。

## ■申込締切

平成 28 年 11 月 30 日 (水)

- \* 締切日以前でも定員になり次第、締切とさせていただきます。
- \* ただし、締切日以降も定員に達しない場合は、定員に達するまで受け付けます

## ■個人情報について

申込書等に記載された個人情報については、本セミナーの運営目的にのみ使用します。セミナー資料にはお名前、所属、肩書きの一覧表(名簿)を掲載いたします。(年齢、VC 担当経験年数については、分科会グループ編成のために使用し、名簿には掲載いたしません)

なお、事務取扱を委託する**名鉄観光サービス** ㈱と**全国社会福祉協議会**は個人情報の取り扱いにかかわる覚書をかわしています。

## ■内容に関する問合せ先

**全国社会福祉協議会／全国ボランティア・市民活動振興センター**【担当：金谷内】

〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル

TEL : 03-3581-4656 FAX : 03-3581-7858 eメール : vc00000@shakyo.or.jp

(申込書はダウンロードもできます→<http://www.shakyo.or.jp/gyoumu/>)

## ■申込先・申込等に関する問合せ先

**名鉄観光サービス** ㈱ **新霞が関支店**【担当：<sup>はたの</sup>波多野・山辺】

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル L B 階

TEL : 03-3595-1121 FAX : 03-3595-1119

受付時間 平日 9:30~17:30 土日祝祭日休業